

令和4年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業報告書

砺波市及びその他の公共団体が設置する文化施設及び生涯学習施設、花と緑に関する施設並びに散居村に関する施設等で、文化、芸術及び花と緑の振興により、市民の芸術文化活動、生涯学習活動及び花や緑を愛し守り育てていく活動とともに、散居景観の紹介、保全及び創造並びに農村文化及び伝統文化を継承し、周辺地域を含む自然、人文及び社会の諸事象についての総合的研究を支援し、もって市民の教養と文化を高め、緑豊かな環境づくりと心豊かなまちづくりの推進及び地域社会の健全な発展に寄与するため、令和4年度事業計画に基づき次のとおり実施した。

1 公益目的事業1

(1) 砺波市文化会館事業

参加協働型事業、普及・鑑賞型事業、共催事業、市民文化交流事業及び広報事業を以下のとおり実施した。

①参加協働型事業

公演名	期日	内容	備考
吹奏楽振興事業 マーチング講座及びチューリップパレード	中止	新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止。	
合唱振興事業 「となみのジュニア合唱団」の育成	7/24(日) ～12/25(日)	「となみのジュニア合唱団」団員を砺波市内の小・中学生を対象に公募し、12回のワークショップと、最終日には、練習の成果を発表するコンサートを開催した。	開催回数 13回 団員数 11人
オリジナルミュージカル「ちいさなちいさなお星さま」	3/4(土) 5(日)	となみミュージカルキッズを応援する会と砺波市文化会館が協働してオリジナルミュージカルを開催した。昨年より観客数も増え、大盛況であった。	大ホール 公演回数 2回 入場者数 1,393人

②普及・鑑賞型事業

事業名	期日	内容	備考
スキマスイッチ TOUR 2022 “café au lait”	6/23(木)	スキマスイッチの全国ツアー砺波公演を開催した。初の砺波公演のチケットは完売し、歓声を出せない中でも大きな盛り上がりを見せた。	大ホール 入場者数 1,073人
富山県公立文化ホールネットワーク 公演事業「ホールシネマイントヤマ」	8/20(土) 21(日)	子ども向け作品として「ハリー・ポッターと賢者の石」、ネットワーク公演事業として、富山県がロケ地の「幌馬車は行く」を上映した。	大ホール 入場者数 163人

③共催事業

事業名	期 日	内 容	備 考
チューリップフェアスペシャルイベント	5/1(日)① 5(木・祝)②	第70回フェアで中止となったスペシャルイベントの大ホール公演を開催した。入場整理券の申込みには指定席数をはるかに超える応募があった。 ①「はじめしゃちょーステージショー」 ②「大阪桐蔭高等学校吹奏楽部特別演奏会」	大ホール 入場者数 ①1,002人 ②1,095人
ゴスペラーズ坂ツアー2022 “まだまだいくよ”	5/21(土)	ゴスペラーズの全国ツアー砺波公演を開催した。2020年3月の開催予定から、延期、中止を経てのリベンジ公演で、チケットは完売した。主催はグラスiasと北日本放送。	大ホール 入場者数 1,080人
北日本民謡舞踊砺波大会	7/3(日)	北日本新聞社等の主催による、民謡のど自慢コンクール地区大会を開催した。新型コロナの影響のため、2年の延期を経ての開催となった。	大ホール 出場者 62人
NHK全国学校音楽コンクール富山県コンクール	8/9(火) 10(水)	NHK主催による、小・中・高校の児童・生徒を対象とした合唱の地区コンクールを開催した。	大ホール 参加 小学校3校 中学校7校 高等学校5校
富山県民芸術文化祭	9/17(土) ~19(月・祝)	富山県等が主催する、県内の芸術文化団体が参画する文化の祭典を開催した。新型コロナの影響により令和3年度から延期されての開催となった。	
NHK公開収録 民謡魂 ふるさとの唄	1/15(日)	NHK富山放送局と共催で公開収録を行った。司会は城島茂で、プロの出演のほか、砺波市民謡民舞協会や南砺平高校郷土芸能部等地元の出演もあり、事前抽選により当選した観客が、民謡と踊りを堪能した。	大ホール 入場者数 990人

④市民文化交流事業

事業名	期 日	内 容	備 考
砺波市文化協会・安城文化協会交流事業	6/3(金) 俳句合同吟行会	安城市から来砺され、砺波市文化協会会員とともに、チューリップ公園内を散策しながら作句し、優秀作品の表彰を行うなど交流を行った。	参加者数 安城文化協会 21人 砺波市文化協会 31人
	12月	文芸誌の交換を行った。 『散居の里』と『明治川』各30冊	
サマーフェスティバル in 砺波チューリップ公園「ふるさと盆踊り」	中止	新型コロナウイルス感染症の拡大影響を考慮し中止。	
チューリップ公園 KIRAKIRA ミッション2022	12/1(木) ~25(日)	文化会館の前に光のディスプレイを設置し、来館者及び来園者を楽しませた。	公園来場者数 49,000人

⑤広報事業

部門名	期 日	内 容	備 考
広報となみ	毎月	自主事業PR、催物案内等を掲載。	12回
メディア広報 (KNB)	毎月第1月曜	KNBでるラジ(電話出演4分)にて催物紹介。	12回
メディア広報 (エフエムとなみ)	隔週木曜、金曜	スクランブルとなみ(収録10分)にて催物紹介。	24回収録 48回放送
インターネット広報	随時	ホームページ、ツイッター、インスタグラムにて、自主事業PR等の情報発信を実施。	
ホールメイト	随時	会員(年会費1,000円)を募集し、隔月で催事情報の送付、主催事業5%割引、先行販売等を実施。	加入者 98人

(2) 砺波市文化会館施設管理運営事業

① 施設利用状況

区 分		利用日数			利用者数		
		4年度	3年度	利用対比 R4/ R3	4年度	3年度	利用対比 R4/ R3
大 ホ ー ル	公益目的 利用日数	176日	163日	108.0%	人 48,339	人 32,793	% 147.4
	収益目的 利用日数	27日	7日	385.7%			
	利用日数 合 計	203日	170日	119.4%			
	利用率%	67.9%	57.0%	—			
そ の 他 (4 部 屋)	公益目的 利用日数	846日	740日	114.3%	人 13,095	人 8,814	% 148.6
	収益目的 利用日数	70日	52日	134.6%			
	利用日数 合 計	916日	792日	115.7%			
	利用率%	68.2%	64.7%	—			
合 計	利用日数	1,119日	962日	116.3%	人 61,434	人 41,607	% 147.7

項 目	公益目的事業	収益目的事業	備 考
令和4年度	0.874	0.126	
令和3年度	0.850	0.150	

※利用日数と各施設面積の積数による。

② 建築・設備機器の管理に万全を期すため、舞台機構、空調設備等の保守点検を実施、施設利用者の安全で快適な利用環境確保に努めた。

(3) 砺波市美術館事業

企画展事業、常設展事業、芸術文化活動支援事業、教育普及事業及び広報事業を実施した。

①企画展事業

名 称	会 期 (開催日数、休館日除く)	内 容	入場者数 (人)
チューリップフェア特別展 写真展「138億光年宇宙の旅」	4/9 (土) ~ 6/8 (水) (55日間)	創立から60年余り、宇宙開発や天体観測に偉大な功績を残してきたアメリカ航空宇宙局 (NASA) の観測衛星や惑星探査機、宇宙望遠鏡等が捉えた美しく驚異的な天体写真を紹介した。 (企画展示室、常設展示室2、3)	46,124
トリエンナーレ となみ野美術展 2022	6/18 (土) ~ 7/31 (日) (41日間)	砺波市、南砺市、小矢部市に在住する作家による美術展。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門から131名が出品。となみ野美術大賞は、日本画部門・小野美恵子「ガーデンハウスの猫」が受賞した。 (全館展示)	2,895
夏の子ども美術大会	8/11 (木・祝) ~ 8/28 (日) (18日間)	前半は、子どもたちを対象としたワークショップを行った。 後半は、前半のワークショップで創作した作品と、「子どもの造形アトリエ」で制作した作品の展示を行った。 (企画展示室)	1,262
齋 正機の世界展	9/10 (土) ~ 10/30 (日) (47日間)	日本の風景や日常の何気ない情景を明るく柔らかい作風で描く日本画家・齋正機 (1966~、福島県出身) の世界を69点で紹介した。 (企画展示室)	2,370
至高の精神展総集編 Part. 4	1/14 (土) ~ 2/23 (木・祝) (38日間)	至高の精神展第16回から第20回に登場した、尾崎真理、高島圭史、野村瑞穂、横山丈樹、川原和美の作品を紹介した。 (企画展示室)	939

② 常設展事業

名 称	会 期 (開催日数、休館日除く)	内 容	入場者数 (人)
常設展	163日間	収蔵品の展示をテーマごとに、常設展示室3室で順次公開した。 常設1 工芸の秀作 館蔵品(8/6-8/28) 特集「源氏物語絵巻手鑑」(9/3-10/30) 工芸の秀作 館蔵品(11/12-12/25) 工芸の秀作 館蔵品(12/27-2/23) 工芸の秀作 館蔵品(3/4-3/31) 常設2 「下保 昭展」(8/6-9/6) 「高道 宏展」(9/10-10/30) 「版画の世界展」(12/10-1/22) 「山田 和展」(1/24-2/23) 「紫藤 孝展」(3/4-3/31) 常設3 「森村泰昌展」(8/6-9/6) 「林 清納展」(9/10-10/30) 「加賀谷 武展」(12/10-1/22) 「関根 勢之助展」(1/24-2/23) 「藤井 宏展」(3/4-3/31)	4,674

③ 芸術文化活動支援事業

名 称	会 期 (開催日数、休館日除く)	内 容	入場者数 (人)
第18回砺波市美術展	11/12(土) ~ 12/4(日) (22日間)	砺波市在住・在勤・在学者を対象とした公募展。日本画16点、洋画26点、彫刻6点、工芸14点、書35点、写真23点の6部門合計120点を展覧した。 (企画展示室、常設展示室2、3)	2,444
第19回 砺波市美術協会会員展	3/4(土) ~ 3/26(日) (22日間)	砺波市美術協会の会員展。 日本画15点、洋画18点、彫刻6点、工芸15点、書25点、写真9点の6部門88点の作品を展覧した。 (企画展示室、市民ギャラリー)	1,772

④ 教育普及事業

名 称	日 数	内 容	入場者数 (人)
子どもの造形アトリエ	43日	新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し6月から保育所・認定子ども園・幼稚園の年長及び小学校1、2年生を対象に実施した。	1,114
講演会・ワークショップ	24日	企画展に併せた講演会やギャラリートークを実施し、親子で楽しめる小規模なワークショップを新型コロナウイルス対策を十分に行い開催した。	764
調査研究	年 間	美術情報の収集、調査、研究、次年度の企画展の調査と準備を行った。 常設展示室では、昨年から美術作品の解説パネルを作成し充実を図っている。	—

⑤ 広報事業

広 報	年 間	ポスターやチラシの配布、毎月発行の市広報、エフエムとなみ、ケーブルテレビ、美術館ホームページ、インターネットなどで情報発信を行った。また、新聞広告での告知や共催放送局では告知CMの放送を行った。各展覧会の会期前や会期中には、ツイッター等を活用し、即時性のある情報発信を行っている。	—
-----	-----	--	---

⑥ 砺波市美術振興事業資金を管理し、運用利益を市展の奨励に充て美術の振興に努めた。

⑦ となみ芸術文化友の会の活動を支援し、共同で公開コンサートなどの事業を開催した。

⑧ 建築・設備機器及び収蔵作品の管理に万全を期すため、空調設備の保守点検のほか清掃委託等を実施し、施設利用者の安全で快適な利用環境の確保に努めた。

⑨ 事業利用状況

区 分	利用日数			利用者数		
	4年度	3年度	利用対比 R4/R3	4年度	3年度	利用対比 R4/R3
企 画 展 示 室	日 243	日 235	% 103.4	人 57,806	人 22,686	% 254.8
常 設 展 示 室	163	210	77.6	4,674	39,960	11.7
市 民 ギ ャ ラ リ ー (自主事業単独使用)	1	30	3.3	32	637	5.0
市 民 ア ト リ エ (自主事業単独使用)	59	56	105.4	1,608	1,384	116.2
計				64,120	64,667	99.15

*常設展示室・市民ギャラリーの日数・入場者人数の中にチューリップフェア期間中の数は含んでおりません。

(4) 砺波市美術館管理運営事業

① 施設貸与利用状況

区 分	利用日数			利用者数		
	4年度	3年度	利用対比 R4/R3	4年度	3年度	利用対比 R4/R3
市民ギャラリー	日 73	日 47	% 155.3	人 3,346	人 2,538	% 131.8
市民アトリエ	112	98	114.3	1,594	1,472	108.3
計				4,940	4,010	123.2

(5) 松村外次郎記念庄川美術館

企画展事業、芸術文化活動支援事業、教育普及事業、常設展事業及び広報事業を以下のとおり実施した。

① 企画展事業

名 称	会 期 (日数)	内 容	入場者数 (人)
齋藤清策と策の会	4/2(土) ~ 5/8(日) (34日間)	郷土作家・齋藤清策の画業と、清策没後に師の一字を充て結成した「策の会」に所属した日本画家7名の作品 30点を展示した。	969
第21回 砺波市書道連盟展	5/21(土) ~ 5/29(日) (8日間)	砺波市書道連盟会員の書35点を展示した。	260
洋画 Sparkling! -2022in 庄川最終展-	6/11(土) ~ 7/10(日) (26日間)	豊かな想像力を発揮している県内在住の洋画家73名の新作や近作を集めて展示した。	1,058
かかやき☆はんが -2022in 庄川最終展-	8/27(土) ~ 9/25(日) (26日間)	多種多様な版画技法で活動を続けている県内在住の版画家58名の近作や新作66点を展示した。	680
オマージュ・熊谷守一展	10/8(土) ~ 11/6(日) (26日間)	二科会から亡くなるまで親交をもった熊谷守一と松村外次郎の交流の軌跡を約70点の作品と資料で紹介した。	752
日本画 燦々 -2022in 庄川最終展-	11/19(土) ~ 12/18(日) (26日間)	個性豊かな絵画表現に努め、活動を続けている県内在住の日本画家61名の近作や新作を展示した。	732

さよなら庄川美術館展	2/18(土) ~ 3/21(火・祝) (27日間)	庄川美術館の活動を締めくくる最終展として、庄川美術館のコレクションと資料で振り返った。	939
------------	-------------------------------------	---	-----

② 芸術文化活動支援事業

名称	会期 (日数)	内容	入場者数 (人)
水きらら・人・花 最終展	1/14(土) ~ 2/5(日) (20日間)	令和4年度実技講座受講者作品並びに講師の作品、計44点を展示した。	509

③ 教育普及事業

名称	会期 (日数)	内容	入場者数 (人)
第29回 中学生清流展	7/18(月・祝) ~ 8/14(日) (24日間)	6月に庄川河畔を会場に行った砺波地区中学生写生会の作品を審査し、入選入賞作品100点を展示した。	685
実技講座	6/25(土)、26(日) 7/22(金)、23(土) 8/6(土)、7(日) 9/24(土)、25(日) 11/26(土)、27(日) (10日間)	「花を描く」「人物を描く」「人物像を造る」「町並みを描く」「干支を彫る」の5講座を実施した。	53
調査研究	年間	松村外次郎、藤森兼明らの作品研究、企画展・常設展に関する出品作家の調査を行った。	

④ 常設展事業

名称	会期 (日数)	内容	入場者数 (人)
常設展示	4/1(金) ~ 3/31(金) (314日間)	収蔵美術品より松村外次郎の代表作を15点展示した。アプローチギャラリーは展示入替を4回行った。	7,185

⑤ 広報事業

広報	年間	ポスター、チラシの配布や毎月発行の市広報エフエムとなみ、ケーブルテレビ、美術館ホームページ、マスコミなどで情報発信した。	
----	----	--	--

⑥ 施設利用状況

項目	利用日数			観覧者数		
	4年度	3年度	利用対比 R4/R3	4年度	3年度	利用対比 R4/R3
企画展	221日	198日	111.6%	6,584人	5,133人	128.3%
常設展	314日	287日	109.4%	7,185人	5,597人	128.4%
実技講座	10日	8日	125.0%	53人	23人	230.4%

(6) 庄川水資料館博物館事業

① 常設展示室において、「流木に生きた先人たち 流木と庄川」「川を治め、川を利す 庄川を生きる」のテーマに沿い、流木作業に携わった流送夫の生活資料や、治水・利水・流送に関する資料を展示した。また、松原遺跡（縄文時代）、小牧ダム関連資料も展示し、庄川の歴史を分かりやすくさまざまな視点で学べる場を設けた。

② 通路壁面を利用したミニギャラリーにおいて、平井千香子展、大澤三月展といった現代画家の展示、中学生清流展作品展等の美術館と連携した企画展を開催し、共通割引券をPRし資料館、美術館双方の運用に努めた。

展覧会名	会期 (日数)	内容	入場者数 (人)
平井千香子展 生きざま	4/9(土) ～ 5/22(日) (40日間)	上市町在住の日本画家の作品26点を会場空間を生かして展示した。	545
平成の時代展	6/4(土) ～ 7/3(日) (26日間)	平成時代を年表やブームとなった資料の陳列により振り返った。	338
中学生清流展作品展	7/18(月・祝) ～ 8/14(日) (28日間)	庄川美術館の「中学生清流展」期間に合わせ、平成23年度入賞作8点を展示した。	394
砺波の民話展	9/10(土) ～ 10/10(月・祝) (27日間)	「身代わりになった鯉」「瓜わり清水と金屋ねぎ」などの砺波に伝承する民話を紹介した。	336
大澤 三月 刻の風	10/22(土) ～ 11/23(水・祝) (28日間)	富山市在住の洋画家の大作11点を展示した。	322
誇大妄想・EXP02023 岡部万博	12/3(土) ～ 3/21(火・祝) (89日間)	砺波市在住の造形作家・岡部俊彦の作品を展示した。	819

③ 施設利用状況

施設名	利用日数			観覧者数		
	4年度	3年度	利用対比 R4/R3	4年度	3年度	利用対比 R4/R3
庄川水資料館	314日	287日	109.4%	3,033人	3,733人	81.2%

(7) 庄川水資料館施設貸与事業

① 映像ホール利用状況

年度	開催日数	映像ホール貸与日数
令和4年度	314日	1日
令和3年度	287日	0日

項目	公益目的事業	収益目的事業	備考
令和4年度	0.997	0.003	
令和3年度	1.000	0.000	

※貸与日数と各施設面積の積数による。

(8) 庄川生涯学習センター事業

① 施設の特徴を生かし、日本の伝統芸能の公演や最近話題の映画を鑑賞する機会を提供した。

公演名	期日	内容	入場者数 (人)
庄川名画祭 「ペット」	8/6 (土)	地域の児童生徒に情操教育の支援となる名作アニメを上映した。	40
開館30周年記念事業 庄川落語会 「春風亭小朝独演会」	9/10 (土)	地域住民の方々に古典芸能、話芸の楽しさに触れる機会を提供した。	222
庄川名画祭 「天地明察」	10/15 (土)	豊かな生活環境づくりの一助として、一般向けに名作時代劇を上映した。	118

②広報事業

広 報	通 年	ポスター、チラシの配布や毎月発行の市広報ホームページ、エフエムとなみ、民放放送等マスコミなどを通じて情報発信を行った。	—
-----	-----	---	---

(9) 庄川生涯学習センター施設貸与事業

① 施設利用状況

施設名	区 分		利 用 日 数			利 用 者 数		
			4年度	3年度	利用対比 R4/ R3	4年度	3年度	利用対比 R4/ R3
庄川生涯学習センター	多 目 的 ホ ー ル	公益目的 利用日数	77日	64日	120.3%	6,952人	4,830人	143.9%
		収益目的 利用日数	17日	11日	154.5%			
		利用日数 合 計	94日	75日	125.3%			
		利 用 率	31%	28%	—			
	そ の 他 (7部屋)	公益目的 利用日数	342日	242日	141.3%	17,550人	13,417人	130.8%
		収益目的 利用日数	140日	123日	113.8%			
		利用日数 合 計	482日	365日	132.1%			
		利 用 率	23%	20%	—			
	合 計	利用日数	576日	440日	130.9%	24,502人	18,247人	134.3%
		利 用 率	24%	21%	—			

項 目	公益目的事業	収益目的事業	備 考
令和4年度	0.777	0.223	
令和3年度	0.768	0.232	

※利用日数と各施設面積の積数による。

② 各設備等の保守点検修繕等を適時適切に実施し、利用者の安全で快適な環境確保に努めた。

2 公益目的事業2

(1) 第71回砺波チューリップフェアについて

ア 総括

第71回砺波チューリップフェアは、「花が彩る 星の数ほど愛と希望（ゆめ）」をテーマに4月22日（金）から5月5日（木・祝）までの14日間にわたり開催いたしました。入場者数は目標の30万人には届きませんでしたでしたが、昨年から約90%増の28万2千人と、コロナ禍前の水準近くまで回復しました。また、来場者アンケートの結果では、北陸から約55%の方が、東海方面から約18%の方が、そして、関東、関西方面からそれぞれ約10%の来場者という結果が得られました。これは、これまでも続けてきた首都圏への情報発信に加え、コロナ禍の状況を考慮して北陸3県など隣県への誘客に重点を置いて取り組んできた結果と考えております。チューリップの開花状況につきましては、春先に温かい日が続いたことから、初日は5割の開花で始まり、7日目の28日に満開宣言を行いました。途中、暴風雨に見舞われ、多くの花壇が被害を受けましたが、後半は気温が低めに推移したことや会期中に花の入れ替え、プランターの追加等を行ったことで最終日まで見頃が続きました。

今回のフェアでは会場周辺の混雑解消を図るため、新たな試みとして、休日の総合病院駐車場を常時無料駐車場として開放し無料シャトルバスを運行したほか、民間商業施設との相互誘客の実証実験として、イオンモールとなみの駐車場を一部フェア駐車場として利用させてもらい、イオンモールとなみへも無料シャトルバスを運行したところ、予想を超える大勢の利用者があり、店舗への誘客や混雑緩和に効果が見られたものと考えます。

今回のチューリップフェアに関する主な数値結果は、次のとおりです。

◆入場者数	282,000人	(R3 148,000人)	90.5%増
		(R1 325,000人)	13.2%減
外国人入場者数	90人	(R3 330人)	72.7%減
		(R1 8,200人)	98.9%減
◆駐車台数 自家用車	35,266台	(R3 23,271台)	51.5%増
		(R1 37,680台)	6.4%減
バス	167台	(R3 44台)	279.5%増
		(R1 445台)	62.5%減
◆JR城端線割引利用者 (割引券配布枚数)	4,517人	(R3 2,328人)	94.0%増
		(R1 5,686人)	20.6%減
◆砺波市美術館入場者	44,597人	(R3 35,492人)	25.7%増
		(R1 55,870人)	20.2%減
◆シャトルバス利用者	22,134人	(R3 8,439人)	162.3%増
		(R1 41,619人)	46.8%減

イ 展示、装飾

装飾や展示では、彩りガーデンや水上花壇などの人気スポットに加え、今回新たに登場した円形花壇の中央にある花モニュメントにリング状の装飾を施したところ、大人気フォトスポットとして多くの来場者で賑わいました。また、今回、新たな試みの一つとして、園内の品種ラベル札に花紹介のQRコードを設置したほか、気に入った品種の球根がその場で購入予約できるよう球根組合の販売サイトへつながるQRコードも併せて設置し、サービス向上及び地場産業の振興を図りました。

ウ 体験、イベント

今回、3年振りに体験コーナーを復活させたところ、「スノードーム作り」や「トートバッグ作り」などが大人気となり、約1,800人の利用者にフェアの思い出をお持ち帰りいただきました。また、スタンプラリーの代替事業として実施した「なぞとき たからさがし」については、大変人気となり約6,600人の方々が参加し、イベントを楽しむ親子やカップルで園内が賑わいました。

昨年コロナの影響により中止となった2つの特別イベントについてはリベンジ開催しました。「はじめしゃちょー」のステージでは午前、午後ともに1,000人を超える観客がトークショーを楽しんだほか、午後の部では、はじめしゃちょーがOBの砺波東部小学校及び庄西中学校のバスケットボールチームがサプライズ登場するなど、バスケットボールのフリースロー対決や会場の皆さんとのジャンケンゲームなどで大いに盛り上がりました。また、5月5日「大阪桐蔭高等学校吹奏楽部特別演奏会」では、午前の部の新設チューリップステージ前には5,000人以上の観客が、また、整理券制となっている午後の部の文化会館大ホールでも、1,100人以上の観客が迫力ある吹奏楽演奏とミュージカルを織り交ぜたスペシャルなステージに魅了されました。

エ 新型コロナウイルス感染症対策

今回の砺波チューリップフェアの開催に当たり、来場者の方には、安心安全なフェアを楽しんでいただくため、前回実施の日時指定入場の実施や体温測定、会場レイアウトの変更等の基本的な対策に加え、各入場ゲートでの混雑防止を念頭に次の対策強化を実施しました。結果、昨年と比較し各門での入場に係る行列及び待機時間を大幅に改善することが出来ました。

① 着券機械の見直し

よりスムーズに入場できるよう着券コードの読み取りに専用機械を追加設置した。

② 大人数用検温器の導入

メインゲートである北門にはサーマルカメラを設置し、立ち止まることなく体温測定できるようにした。

③ 各窓口販売チケットの種別変更

日時指定チケットの当日の残り枠分を各門の入場券売り場にて従来の紙チケットで販売し、着券によるタイムロスの解消を図った。

オ 連携イベント・連携会場

◆出町子供歌舞伎曳山 (4/29~30)	2, 500人	(R3: ※中止、 R1: 2,700人)
◆せんだん山水仙そばまつり(4/30~5/1)	1, 500人	(R3: 1,200、 R1: 2,700人)
◆庄川遊覧船乗客数	900人	(R3: 500、 R1: 1,600人)
◆かいによ苑	230人	(R3: 250、 R1: 450人)
◆となみ散居村ミュージアム	2, 300人	(R3: 2,800、 R1: 2,300人)
◆庄川美術館	410人	(R3: 500、 R1: 350人)
◆庄川水資料館	260人	(R3: 400、 R1: 350人)
◆出町子供歌舞伎曳山会館	380人	(R3: 300、 R1: 1,100人)
◆砺波郷土資料館	10, 000人	(R3: 2,900、 R1: 30,000人)

(2) 花と緑の振興事業

花と緑の振興を図るため、次のとおり事業を実施した。

① 企画展示

花と緑の普及啓発のため、特別企画展として秋季は「第21回となみチューリップ球根まつり」、冬季は「第37回春を呼ぶチューリップ展」を開催した。また、春季は「チューリくん自慢のコレクション展」を、チューリップフェアと同時開催した。

また、小企画展として「ハンギングバスケット展」や「第28回押花展」、「チューリップ四季彩館スクール合同作品展」等を開催した。

ア 特別企画展実施報告

名称	会期 (日数)	内容	人数 (人)
春季特別企画展 「チューリくん自慢の コレクション展」	4/22(金) ～ 5/5(木・祝) (14日間)	砺波市のシンボルキャラクター「チューリくん」の家の前に広がる花壇に、花が彩る星の数ほど愛と希望(ゆめ)をコンセプトに「スター」、「ラブ」、「ドリーム」が付くチューリップを中心に展示。	チューリップフェアと同時開催
秋季特別企画展 「第21回となみチューリップ球根まつり」	10/7(金) ～ 10/10(月・祝) (4日間)	球根産地砺波をPRするイベントとして、県産球根100品種以上を販売。全品通常価格の2割引とし、セット商品として皇室献上品種セットや福袋を用意した。寄せ植え体験は、3年ぶりに実施した。	18,000
冬季特別企画展 第37回 春を呼ぶチューリップ展 「チューリップが奏でる 色彩のシンフォニー」	1/26(木) ～ 2/12(日) (18日間)	促成栽培で咲かせた1万本のチューリップと早春の花々を展示し、ひと足早い春の訪れが感じられる展示を行った。あわせて、チューリップの切花販売コーナーを設け砺波産切花のPRを行うとともに、ミニSLに乗車しながら展示を観覧できる内容にした。	4,826

イ 企画展実施報告

名称	会期 (日数)	内容
山根悦子 かがくのとも「チューリップ」 絵本原画展	4/22(金) ～ 5/5(木・祝) (14日間)	チューリップを題材とした絵本の原画及び富山県産チューリップのボタニカルアート作品を展示した。 (2階セミナールーム)

初夏を彩る コンテナガーデン展	5/13(金) ～ 5/29(日) (17日間)	デルフィニウムやキンギョソウ、ラベンダーなどを使用した花色を楽しむ寄せ植えを展示した。 (ワンダーガーデン)
香りのハーブ展	6/3(金) ～ 6/19(日) (17日間)	ラベンダーやローズマリー、セージなど様々な香りを持つハーブを利用法別に展示した。 (屋外展示場)
夏を楽しむ草花 サルビアとペチュニア	7/1(金) ～ 7/24(日) (24日間)	夏を代表する草花である「ペチュニア」約15品種と「サルビア」の仲間10品種を展示紹介した。 (ワンダーガーデン・屋外展示場)
第28回押花展	7/29(金) ～ 8/21(日) (24日間)	ふしぎな花倶楽部本部講師の東昌子氏の押花作品を12点展示し、植物の造形美をアールヌーヴォーの優雅な曲線美で表現した。 (2階セミナールーム)
秋を彩る コンテナガーデン展	9/9(金) ～ 9/25(日) (17日間)	センニチコウやセロシア(ケイトウ)、エキナセア等の草花とカラーリーフでつくる寄せ植え約20点を展示した。 (ワンダーガーデン)
秋を彩る ハンギングバスケット展	10/7(金) ～ 10/16(日) (10日間)	日本ハンギングバスケット協会富山支部の協力によりハンギングバスケット12点を展示した。 (風車前広場)
いろいろな多肉植物	11/11(金) ～ 11/27(日) (17日間)	様々な約60品種の多肉植物を、科や属、生育型別といったタイプ別に展示紹介した。 (ワンダーガーデン)
四季彩館スクール 合同作品展	11/25(金) ～ 12/4(日) (10日間)	花の和紙ちぎり絵、三助焼陶芸、水引あそびのお花たちコースの受講生の作品を展示した。 (2階セミナールーム)
球根植物のいろいろ	2/3(金) ～ 2/12(日) (10日間)	原種のチューリップやヒヤシンス、ムスカリの水耕栽培を中心に早春に咲く球根植物の室内の楽しみ方を紹介した。 (ワンダーガーデン)
クリスマスローズ展	3/3(金) ～ 3/12(日) (10日間)	原種や原種間交配種を中心に、色や咲き方、花形、模様の異なるクリスマスローズ約30点を展示した。 (ワンダーガーデン)

② 花と緑に関する教室、講演会の開催

花と緑に親しみ、楽しむため花と緑に関する教室及び講演会を開催した。

ア 教室実施報告

1) 園芸教室

名 称	日数	内 容	人数 (人)
花と緑のコース [全9回]	9	草花の土作りや防除について、園芸の基礎を学ぶ教室を開催した。	11
ハンギングバスケットコース [午前・午後 全5回]	5	季節のハンギングバスケットを作製する教室を開催した。	39

2) フラワーアート講座

名 称	日数	内 容	人数 (人)
花の和紙ちぎり絵 初級コース [全5回]	5	バラやリンドウなどの花をデザインしたちぎり絵を作製する教室を開催した。	9
花の和紙ちぎり絵 中級コース [全5回]	5	花や植物、自然をテーマにしたちぎり絵の大作を作製する教室を開催した。	4
三助焼陶芸コース [全5回]	5	三助焼で花器を作製する講座を開催した。	15
水引あそびのお花たちコース [全7回]	7	日本の伝統工芸である「水引」を用いて花を作製した。	5

3) 特別講座

名 称	日数	内 容	人数 (人)
楽しいキク作りコース [全8回]	8	キク苗の定植、剪定、夏に向けての管理など季節ごとの手入れについて学ぶ講座を開催した。	31

イ 講演会の開催

花と緑の推進と普及を図るため「花と緑のフォーラム」を開催した。

日 時 3月11日(土) 午後1時00分～

場 所 四季彩館チューリップホール1

花と緑の銀行砺波支店長表彰、記念樹贈呈、砺波市緑花推進市民会議、事例発表

参加者数 150人

③ 情報の発信

広報となみを活用して、チューリップ四季彩館の特別展や常設展、園芸講座等に関する情報を発信した。

④ 緑花に関する事業の推進

市内公共施設や各地区の緑花推進協議会、協定地域へ花苗の配布、地域の花づくり推進補助を行い、地域緑花を推進した。

私たちの夢花壇（市民参画花壇）の推進及び砺波市花と緑のコンクールを行い、緑花意識の高揚に努めた。コンクール応募総数70件、10月の球根まつり会場内で表彰式を実施。

砺波花とみどりの少年団や砺波嵐山桜保存会の活動を支援した。

市内の保育所、認定こども園、幼稚園の年長児クラス（計18施設）へ、チューリップに親しみを持ち、花と緑を愛する心をより育てていただけるよう、水栽培セットを11月に購入し配付した。

砺波駅周辺や砺波インターチェンジ付近、庄川ふれあい花街道などにおいて、市街地活性化も含めて緑花推進を図るため、花の植込みや樹木の維持管理を行った。

花と緑に包まれた美しいまちづくりの推進を図るため、結婚、誕生、新築の節目の方々へ、記念樹を配布した。

花いっぱいパートナー事業（申込みのあった市内事業所に樽プランター、土、チューリップ球根を無償で提供する）を実施した。11事業所：25個配付。

⑤ 体験企画

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催見送り。

花と緑の銀行機関紙等に市内の緑花活動に関する内容を掲載するなど、花と緑のまち砺波市をPRした。

緑の相談員と連携し、保存樹の保全・継続・廃止に関して、事務事業を推進した。

(3) チューリップ四季彩館の管理運営事業

① 施設の管理

指定管理者として、チューリップ四季彩館の施設管理を適正に行った。年間を通じて展示スペース及びホールの施設管理を行い、照明設備や空調設備、消防設備点検を実施するとともに、消雪装置や照明灯修繕など施設維持管理を行った。

施設利用状況

区 分	展 示 室 ※うち台湾利用者数	特別企画展示	ホール利用
利用 者 数	34,685人 ※ 162人	22,816人	7,930人

項 目	公益目的事業	収益目的事業	備 考
令和4年度	0.852	0.148	
令和3年度	0.853	0.147	

※利用日数と各施設面積の積数による。

② 常設展示の企画、運営

年間テーマを「季節を彩る花々」とし、チューリップパレスのチューリップ展示とともに、季節の花々の展示を行った。

常設展示実施報告

テ ー マ	期 間
季節を彩る花々 ～春～	3/25 (金) ～ 5/10 (火)
季節を彩る花々 ～初夏～	5/13 (金) ～ 6/14 (火)
季節を彩る花々 ～夏～	6/17 (金) ～ 7/5 (火)
季節を彩る花々 ～盛夏～	7/8 (金) ～ 9/6 (火)
季節を彩る花々 ～秋～	9/9 (金) ～ 11/8 (火)
季節を彩る花々 ～クリスマス～	11/11 (金) ～ 12/26 (月)
季節を彩る花々 ～新春～	1/4 (水) ～ 1/23 (月)
季節を彩る花々 ～早春～	1/26 (木) ～ 3/21 (火祝)

③ 展示植物の育成

当財団で栽培した植物を館内装飾として活用し、花展示の充実を図った。

④ 展示花壇及び植栽の管理等

四季彩館周辺樹木や彩りガーデン（県内で生産されている300品種花壇）などの管理を行った。また、屋外展示場では、香りのハーブ展など小企画展を実施した。

⑤ チューリップ四季彩館への誘客及び広告宣伝事業の実施

ホームページに、チューリップフェアとのリンクを設けて情報発信するとともに、フェアの動画（YouTube）、写真などの多様な機能を充実させた。また、英語、中国語（繁体字）のページにより、国外のお客様への情報発信及び誘客に努めた。

四季彩館及びチューリップフェアへの誘客のために、動画DVDや写真CDを活用し関係機関に配布しPRに努めた。

部門名	期日	内容	備考
広報となみ	11回/年 ※4月無し	展示、イベント、ショップ等の新商品のPR 講座受講者の募集など	
メディア広報 (新聞、テレビ、ラジオ等)	随時	イベントの新聞広告(折込チラシ含む) イベント情報を提供し取材を受けるなど	
ホームページ、 インターネット広報	随時	ホームページやリップちゃんのブログ、 facebook、Instagramにて、企画展、常設展、 イベント、ショップ等新商品のPR情報発信	
年間パスポート会員 募集	随時	随時会員募集。イベント案内の送付 ※四季彩館及びチューリップフェアの入場が無料	

四季彩館の展示内容やフェア期間中におけるチューリップの開花情報等をブログ、facebook、Instagramを通じて公開するとともに、積極的に情報発信の充実と誘客を図った。

2月に台湾で開催された士林官邸公園チューリップ展の開会式及び文雅小学校への表敬訪問に参加するとともに、台湾旅行会との情報交換を実施。

3月にインバウンド回復後を見据え、富山県国際観光課主催の台湾旅行会社の担当者を対象とした「立山黒部・富山・長野・岐阜広域旅行商談会・台湾会場に参加し、四季彩館とフェアPRを実施。

⑥ 四季彩館の利用促進の実施

四季彩館の利用促進のため、結婚写真撮影や市内企業商品のPR映像収録の協力など、新たな利用方法の発信を行った。

カフェかくれ庵（喫茶店）や（一社）砺波市観光協会売店部門の魅力アップに協力し、四季彩館利用者の満足度の向上に努めた。

また、チューリップホールを積極的にPRし、利用促進を図った。

(4) チューリップ公園等の管理運営

① 公園施設及び植栽の管理

指定管理者として、チューリップ公園（約69,700㎡）、フラワーロード（約2,900㎡）、フラワーフロンティアエリア（約2,800㎡）及びその周辺の施設や植栽の管理を適正に行った。春のチューリップのほかに、夏花壇として、コキアを中心に植栽し「星とまゝ〜るいコキア花壇」と名付け、秋まで鑑賞できるように花壇管理に努めた。抜き取ったコキアは、ホウキ作り等に再利用してもらうため、希望者に配布した。

チューリップへの関心と理解を深めるとともに、市民参加型のチューリップフェアを推進するため、小学生によるチューリップ球根植え込み、掘り取り事業を実施した。

チューリップ公園の通年利用と活性化を目的として、五連水車や遊具等施設の点検を実施す

るとともに、園路灯の取替及び案内看板書替え修繕など維持管理を行った。

また、KIRAKIRA ミッションやマルシェなどのイベント開催に協力し、連携に努めた。

そのほか、毎月第2・第4木曜日を「公園清掃美化の日」と定め、財団職員による清掃活動を行った。

(5) 富山県花総合センターの管理運営

① 施設の管理

指定管理者として、富山県花総合センターの施設管理を適正に行った。温室や本館施設の設備点検及び消防設備点検を行うとともに、園内花壇や温室の管理を行った。

② 花まつり、講座等の実施

ア 花まつり等実施報告

名 称	会 期 (日数)	内 容	人 数 (人)
チューリップフェア 特別展示 「みんな集まれ！」	4/20(水) ～ 5/5(木・祝) (16日間)	「みんな集まれ！」をテーマに、花々(生花、アーティシシャルフラワー、多肉植物等)で動物達を見立て、楽しく賑やかな展示を演出した。また、国内有数の品種数を誇るスイセンほ場では、225品種のスイセンが多くの人を来場者を楽しませた。	15,000
初夏を彩る花まつり 2022 「つる性植物」	6/17(金) ～ 6/19(日) (3日間)	「つる性植物」をテーマに、初夏から見頃を迎えるクレマチスやジャスミンなどで涼やかな雰囲気演出したほか、季節の草花で展示ホールを彩った。	4,500
秋を彩る花まつり 2022 「実を楽しむ」	10/14(金) ～ 10/16(日) (3日間)	「実を楽しむ」をテーマに、秋の深まりと共に多彩な色や形を楽しむトウガラシや、ソラナムなどの実物植物と、季節の訪れを感じるダリヤなど季節の草花で展示ホールを彩った。また、研修室では「いろいろな木の実」と題して、大きさも様々で色や形に特色ある木の実、約100種を展示した。	2,138
早春を彩る花まつり 2023 「県産花卉の魅力」	2/10(金) ～ 2/12(日) (3日間)	「県産花卉の魅力」をテーマに、県内の鉢花生産者が育成した、チューリップやプリムラ、ストックなど、春の香りが漂う草花で展示ホールを彩った。また、研修室では国内最多の保有品種から促成栽培で開花させた、約200品種のスイセンを展示した。	2,200

イ 季節展示報告

名 称	会 期 (日数)	内 容
「キク科の植物」	3/10(木) ～ 4/10(日) (32日間)	卒業式シーズンに合わせて富山県内でも多く栽培されているサイネリアを中心に早春に花を咲かせる樹木や洋ランなど季節の花々を展示した。
「カランコエ」	5/20(金) ～ 6/13(月) (25日間)	葉の形状や色彩の変化が個性的で、葉先に小さな子株を付ける種類や、花が美しい種類約50品種を展示した。
「観葉植物で楽しむ苔玉」	6/24(金) ～ 7/18(月・祝) (25日間)	和風な雰囲気にもモダンなインテリアにも合う苔玉を、手軽に手に入る観葉植物で演出した。
「葉っぱを楽しむ」	7/27(水) ～ 8/29(月) (34日間)	色や形も様々な、葉の清涼感で暑い夏に涼しさを演出すると共に、楽しみ方を提案した。
「アガベとアロエの仲間」	9/9(金) ～ 10/7(金) (29日間)	中南米原産で姿形の面白さで人気の多肉植物「アガベ」と、南アフリカ原産でユニークな見た目で注目のアロエの仲間を展示した。
「紅葉を楽しむ多肉植物 (エケベリアなど)」	11/3(木・祝) ～ 11/14(月) (12日間)	中南米原産で色鮮やかな葉が重なってロゼットを形成する「エケベリア」の中でも、晩秋から春にかけて葉がきれいな紅葉色に染まる品種を中心に展示した。
「クリスマス(シクラメン)」	11/18(金) ～ 12/25(日) (38日間)	県内の鉢花生産者が育てた最新品種を含むシクラメンと、高さ5mのクリスマスツリーを展示し、オーナメントや飾り、電飾等で華やかに彩った。
「お正月(ハボタン)」	1/4(水) ～ 1/22(日) (19日間)	「お正月」をテーマに、7品種700鉢のハボタンで今年の干支である「卯」を可愛らしく象った。また、会場内ではセンリョウやマンリョウ、苔玉などの縁起植物のほか、切花を使ったお正月アレンジでお正月を演出した。
「節分(ハボタン)」	1/27(金) ～ 2/5(日) (10日間)	「節分」をテーマに、7品種800鉢のハボタンで、「赤鬼」、「青鬼」、「金棒」を演出した。
「キク科の植物」	3/8(水) ～ 4/16(月) (40日間)	卒業式シーズンに合わせて県内でも多く栽培され、栽培農家独自の品種も生まれているサイネリアを主に、ユリオプスデージーやオステオスペルマムなどの鉢物を展示した。

③ コンテスト・講座等事業

ア コンテスト

名 称	会 期 (日数)	内 容	人 数 (人)
第13回 コンテナガーデン コンテスト	5/29(日) ~ 6/19(日) (22日間) [植込日 : 5/29] [審査日 : 6/13] [表彰式 : 6/19]	県民の緑花意識の向上と花の普及を目的として、コンテナガーデンの腕前(デザイン・管理など)を競うコンテストを実施した。50人の参加者が県内の生産者が育てた花苗28種類1,000鉢の中から8鉢を選び、指定のコンテナに植え込み、約2週間後の審査を経て「初夏を彩る花まつり2022」最終日まで管理を行った。	50

イ 県民緑花カレッジ講座

名 称	月 日	内 容	延べ人数 (人)
花の水彩画	4/7(木) 4/14(木) 5/12(木) 5/19(木)	エレガガーデンの屋内外の花を描く。 [全4回]	60
洋ランを育ててみよう 初級コース	5/14(土) 7/9(土) 9/17(土) 10/29(土)	洋ラン(リカステ)の年間栽培管理を学ぶ。 [全4回]	80
洋ランを育ててみよう 中級コース	5/28(土) 10/22(土)	カトレヤやバルボフィラムなどの栽培管理について学ぶ。 [全2回]	30
初めてのバラづくり	6/4(土) 9/10(土) 11/5(土) 3/18(土)	四季咲き大輪バラの栽培管理について学ぶ。 [全4回]	60

寄せ植えづくりを楽しむ	7/16(土) 11/23(水・祝) 12/17(土)	季節の植物で寄せ植えを作る。 [全3回]	72
フラワーアレンジ 基礎コース	7/23(土) 10/1(土) 12/24(土) 2/23(木・祝)	季節に合わせたフラワーアレンジメント(基礎)を学ぶ。 [全4回]	80
フラワーアレンジ 応用コース	7/23(土) 10/1(土) 12/24(土) 2/23(木・祝)	季節に合わせたフラワーアレンジメント(応用)を学ぶ。 [全4回]	72
植物画ボタニカル・イラストレーション	2/26(日) 3/12(日) 3/19(日) 3/26(日)	屋内外の植物画について学ぶ。 [全4回]	72

ウ 県民緑花オープン講座実施

名 称	月日	内 容	人数 (人)
県民緑化オープン講座 (第1回～14回開催)	5/7(土) 6/11(土) 7/2(土) 8/21(日) 9/24(土) 10/30(日) 11/3(木・祝) 11/12(土) 11/19(土) 11/23(水・祝) 12/17(土) 12/25(日) 12/26(月) 2/25(土)	プリザーブドフラワーアレンジメント「母の日」、多肉植物の寄せ植えづくり、花と緑の病害虫対策、カブと大根の種まき、生産者から学ぶ秋の寄せ植えづくり、スイセンと秋植え球根の寄せ植えづくり、生産者から学ぶガーデンシクラメンの育て方、雪吊りの基礎、プリザーブドフラワーの壁掛け「クリスマス」、促成チューリップの寄せ植えづくり、お正月の寄せ植えづくり、フラワーアレンジメント「お正月」、生産者から学ぶ早春の寄せ植えづくりについての講座を行った。 [全14回]	283

④ スイセンほ場の管理

現在の保存品種225品種について、形質を良好な状態で維持・管理した。4月上旬からの開花期には見ごろ看板を設置し、来園者を開花中のほ場へ誘導してスイセンの魅力をPRした。

⑤ 立体花壇及びモデル花壇、バラ花壇等管理

立体花壇（正面入り口：ウォール）の図柄について、4～6月はジオラを使い、チューリクんとリップちゃんが遊ぶ姿、7月～11月はハートを描いた。

モデル花壇では、とやま鉢花生産者組合で生産された花苗を植栽し良好に管理した。

バラ花壇では50品種のバラを維持管理して、5月下旬～6月上旬、10月中旬～11月上旬の開花時期には新聞等に取り上げられ多数の来園者があった。

⑥ 展示温室の管理

年間を通じ亜熱帯性植物や洋ラン類を良好な状態で維持管理して展示した。

⑦ 富山県花総合センター利用者増への取組

花まつり等イベントや季節展示、花の見頃情報、講座の募集についてのPRをチューリップ四季彩館と一体的に行ったほか、広報となみやリップちゃんブログ、ホームページを活用し相互の連携を図るとともに、ポスターやチラシを配布した。また、イベント開催を案内する看板やのぼり旗を設置しPRを行った。

花まつりの開催中に実施した寄せ植え体験コーナーやとやま鉢花生産者組合青年部による花苗の販売が来園者に好評であった。

花まつり以外の期間も季節感のある展示テーマを設け、季節展示を展示ホールにて行った。

⑧ 施設設備の維持管理

栽培温室ボイラー温水循環ポンプ修繕、展示温室1F内張カーテン設置用金具取付修繕、本館南側排水溝修繕などの修繕を実施した。

3 公益目的事業3

(1) となみ散居村ミュージアムの管理・運営

① 施設・設備の管理・運営

指定管理者として、ミュージアムの施設管理を適正に実施した。敷地内の美化については、除草、防除、剪定など適時実施し、施設の不具合等については、速やかに修繕を実施した。

散居村の保全活動等については、散居村に関する写真・パネル等の常設展示のほか、小学校のふるさと学習等を受け入れるなど、散居村に対する理解を深める一方、散居景観保全枝打ち研修会を開催し、散居景観保全活動や剪定技術を学習した。

また、博物館類似施設としてレファレンス業務に対応した。

空き家活用事業及び砺波散村地域研究所事業の受託業務を実施した。

となみ野田園空間博物館推進協議会事務局及び全国散居村連絡協議会業務を担った。

施設利用状況

区 分	利用 者 数		利用 対 比 R4/R3
	令和4年度	令和3年度	
情報館・交流館・伝統館	19,860人	19,235人	103.2%
民具館	3,287人	3,405人	96.5%
合 計	23,147人	22,640人	102.2%

② 展示・施設利用

ア 企画展示等

名 称	期 間 (日数)	内 容	人 数 (人)
情 報 館	4/1(金) ～ 3/31(金)	エントランスで散居村に関する写真展などを随時開催 【特別展】 4/14(木)～5/31(火) 石村真一日本の屋敷林写真展 ～美しい樹木景観を求めて～	19,860 (4,297)
	4/1(金) ～ 7/3(日)	第51回企画展 佐竹 清 版画展 ～散居と立山のある風景～	872
民 具 館	7/9(土) ～ 11/6(日)	第52回企画展 関口 彩 絵画展 青をつむ日々	910
	11/12(土) ～ 3/5(日)	第53回企画展 江向 尚美 造形展 静寂 大自然の恵みに感謝して・・・	1,295
	3/11(土) ～ 3/31(金)	第54回企画展(会期 R5.7.2まで) 松本 昌子 創作人形展 時間も空間も超えて・・・	144

となみ野散居村 フォトコンテスト ・ビエンナーレ	[募集期間] 1/5(木)~ 2/17(金) [審査] 3/6(月)	第21回となみ野散居村フォトコンテスト・ビエンナーレ作品募集 フォトコンテスト実行委員による審査 応募点数241点 入賞42点の選出	令和5年 4月展示開始
--------------------------------	--	--	----------------

イ 常設展示

展示場名	内容等
情報館	エントランス、ワクノウチにて散居村関連パネル等の展示
民具館	生活・生産用具(国重文)の展示

③ となみ野田園空間博物館推進協議会の業務受託
担当者会議、幹事会、総会の開催

ア 散居村学習講座

名称	期日	内容等	人数(人)
プレ 学習講座	4/29(金・祝)	日本の屋敷林 ―美しい樹木景観を求めて― 講師 九州大学名誉教授 石村 眞一 氏	33
見学会 学習講座	5/21(土)	古民家・歴史文化探訪見学会 「高岡市の伝統民家と伝建保存地区を訪ねる」 随員講師 早稲田大学理工総研研究員 森本 英裕 氏	44
第1回 学習講座 (開講式)	6/25(土)	人口動態から見る砺波のこれまでとこれから 講師 富山大学人文学部教授 大西 宏治 氏	50
第2回 学習講座	7/16(土)	砺波の風土建築を語る ―明治期におけるアズマダチ民家の建設過程を映像化― 講師 京都大学大学院教授 小林 広英 氏 京都大学大学院助教 杉中 瑞季 氏 早稲田大学理工総研研究員 森本 英裕 氏	57
第3回 学習講座	8/6(土)	歴史は景観から読み解ける 講師 京都府立大学准教授 上杉 和央 氏	59
第4回 学習講座	8/27(土)	庄川流域の地形を読む 講師 富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏	60
第5回 学習講座	9/10(土)	考古学からみた散居村地域のあゆみ 講師 富山県埋蔵文化財センター所長 河西 健二 氏	48

第6回 学習講座	10/8 (土)	チューリップ生産の歴史と今 講師 富山県花卉球根農業協同組合 代表理事組合長 石田 智久 氏 参事 藤岡 昭宏 氏	27
第7回 学習講座	10/29 (土)	となみ散居村にみる居住のための空間的システム 講師 新潟大学工学部准教授 黒野 弘靖 氏	33
第8回 学習講座	11/26 (土)	交通まちづくり公開講座 移動を支えることは魅力ある呉西地区のまちづくりの第一歩 講師 (一社) グローカル交流推進機構理事長 土井 勉 氏 ワークショップ	36
番外編 学習講座	12/17 (土)	見学会「薬業・食文化・埋文を現地で学ぶ」 見学先 薬種商の館 金岡邸 富山県埋蔵文化財センター ほか	27
第9回 学習講座	2/25 (土)	農業・農村シンポジウム「農が育んだ散居村」 基調報告 「農業・農村解体の35年と砺波農村」 高岡法科大学教授 石川 啓雅 氏 シンポジウム 「農業経営体の皆さんと語ります」 コーディネーター 石川 啓雅 氏 パネリスト 浄土 正樹 氏 小西 十四一氏 南 賢二 氏 西野 真夫 氏	34

イ 学習資料の作成

「砺波地方の昔の農事と祭り・行事パンフレット」の増刷
「散居村紹介チラシ・パネルー庄川の「松川除」ー」の刷新
「散居村の伝統民家 間取りの文化と拡張」チラシ など

ウ 第16回小中学生写真コンテストおよび写真展の実施 応募総数825点

エ「あずまだち高瀬」「いのくち椿館」との連携事業を実施
つばき展、いのくち椿まつりの開催

④ 空き家利活用事業の業務受託

市民生活課砺波暮らし推進班と連携し、空き家情報を収集した。
空き家利活用希望者及び移住検討者に対し、空き家情報の提供、内覧業務を行った。

ア 定住体験施設「佐々木邸」の管理及び利用者の受け入れ

利用期間	利用組数	利用人数
46日間	11組	63人

イ 第2のふるさと発見事業として、都市部の大学ゼミ活動の受け入れ

期 日	大 学 ゼ ミ 名	人 数 (人)
9/21 (水) ~ 23 (金・祝)	同志社女子大学 中井教授ゼミ	5
12/10 (土) ~ 11 (日)	福岡女学院大学 二階堂教授ゼミ	5
2/25 (土) ~ 26 (日)	同志社女子大学 日本語日本文学会	15

⑤ 砺波散村地域研究所事業の業務受託

研究機関等と連携した散村に関する総合的な調査研究の実施
 となみ野の景観資源の活用に向けた研究の実施
 例会の開催、小学3年生を対象としたふるさと学習の協力
 研究紀要第39号の刊行
 高校等又は生涯学習団体の研究学習活動に対する支援

名称	期 日	内 容 等	人 数 (人)
運営協議会	6/24 (金)	令和3年度活動報告並びに令和4年度事業計画について	14
第80回記念 砺波散村地域 研究所例会	6/11 (土)	第1部『砺波平野庄川流域の散村と伝統知・地域知』を刊行 1 「発刊にあたって」 吉田 丈人 氏 (総合地球環境学研究所・東京大学准教授) 2 「大正～昭和期の日記にみる散村の暮らし」 深町加津枝 氏 (京都大学大学院准教授) 3 「屋敷・屋敷林の温熱環境」 小椋 大輔 氏 (京都大学大学院教授) 伊庭千恵美 氏 (京都大学大学院准教授) 4 「砺波平野の散村と伝統知・地域知」 小林 広英 氏 (京都大学大学院教授) 第2部 事例報告 5 「大正期の日記にみる砺波市五郎丸の農業」 王 聞 氏 (京都大学大学院) 6 「砺波市五郎丸における地域アイデンティティ」 中村 友彦 氏 ((株)竹中工務店) 小林 広英 氏 (京都大学大学院教授) 7 講評 金田 章裕 氏 (京都大学名誉教授・砺波散村地域研究所長)	66

第1回 所員会議	6/25(土)	研究紀要第39号の刊行報告 令和4年度年間事業計画の調整 所員調査研究案件の調整	9
高校生対象 散村地域学習 講座	8/1(月) ～ 8/3(水)	砺波高校生が、介護班・フードロス班・地域おこし班に分かれ、市内関係施設・活動を訪れ、地域理解を深め、提言活動につなげる	20
小学生対象 散村地域学習 講座	8/7(日)	「4年生親子で散村めぐり」 散居村展望台、伝統的家屋を見学し、模造紙に学習内容をまとめる	10
第2回 所員会議	9/17(土)	上半期事業報告 下半期事業計画の調整 所員調査研究案件の調整 次年度事業計画の調整	9
第81回 砺波散村地域 研究所例会	11/12(土)	発表 砺波散村の農業動向調査から 1「砺波平野における農業経営の現状」 西野 真夫 氏(散村地域研究所所員) 2「太田地区にみる農事組合法人の事例」 安念 幹倫 氏(散村地域研究所所員) 3「組織経営体における大規模法人S農産の事例」 今枝 正也 氏(散村地域研究所研究員) 4「農事組合法人における生産物多角化の事例」 安カ川恵子 氏(散村地域研究所所員) 講演 「分散型都市」としての砺波散村の現在と将来 —モビリティが増大する世界において— 山本 充 氏(専修大学教授)	40
ふるさと学習 講座 (小学3年生)	1/20(金) ～ 2/9(木)	散居村ミュージアム民具館受入れ 9校 1月20日(金) 砺波東部小学校 87人 1月23日(月) 庄南小学校 38人 1月23日(月) 城端小学校 49人 1月24日(火) 砺波南部小学校 35人 1月31日(火) 庄川小学校 31人 2月2日(木) 福光中部小学校 57人 2月3日(金) 福光東部小学校 38人 2月6日(月) 井波小学校 48人 2月9日(木) 福野小学校 115人 砺波民具展示室(庄東小学校内)受入れ 4校 1月24日(火) 砺波南部小学校 35人 1月26日(木) 砺波北部小学校 80人 1月27日(金) 出町小学校 76人 2月8日(水) 鷹栖小学校 27人	498 (716)

4 収益目的事業1（施設貸与事業）

施設貸与事業は、市民の文化・教養活動や福祉の増進のほか興行・商業宣伝等のために、砺波市民並びにその他の者に各施設を貸与し、利用者の利便を図った。

（1）砺波市文化会館施設貸与事業

- ① 公益目的以外で大ホール、練習室等の施設の貸与を行った。
1 公益目的事業1（2）砺波市文化会館施設管理運営事業 ① 施設利用状況のとおり

（2）砺波市砺波農村環境改善センター施設貸与事業

① 施設利用状況

施設名	区 分		利 用 日 数			利 用 者 数		
			4年度	3年度	利用対比 R4/R3	4年度	3年度	利用対比 R4/R3
改善センター	多目的ホール	利用日数	日 217	日 164	% 132.3	人 34,197	人 18,139	% 188.5
		利用率	67%	54%	—			
	その他 (5部屋)	利用日数	759	634	119.7	10,578	8,213	128.8
		利用率	45%	42%	—			
	合 計	利用日数	976	798	122.3	44,775	26,352	169.9
		利用率	49%	44%	—			

（3）庄川水資料館施設貸与事業

- ① 公益目的以外で映像ホールの貸与を行った。

区 分	利 用 者 数		
	令和4年度(人)	令和3年度(人)	備 考
映像ホール	41	0	

（4）庄川生涯学習センター施設貸与事業

- ① 公益目的以外で多目的ホール、研修室等の施設の貸与を行った。
1 公益目的事業1（9）庄川生涯学習センター施設貸与事業 ① 施設利用状況のとおり

（5）チューリップ四季彩館施設貸与事業

- ① 公益目的以外でホールの施設の貸与を行った。
1 公益目的事業2（3）チューリップ四季彩館の管理運営事業 ① 施設の管理、施設利用状況のとおり

（6）富山県花総合センター施設貸与事業

- ① 公益目的以外で研修室等の施設の貸与を行った。

(7) となみ散居村ミュージアム施設貸与事業

① 公益目的以外で交流館等の施設の貸与を行った。

区 分	利 用 者 数		
	令和4年度(人)	令和3年度(人)	備 考
研修室ほか	6,803	6,195	

5 収益目的事業2(付帯事業)

付帯事業は、市民の教養や福祉の増進のほか美術資料の収集のためにサービスを提供し、もって利用者の利便を図った。

(1) 砺波市文化会館付帯事業

① 砺波市文化会館ホールメイト事業は、会員登録を行うことにより、砺波市文化会館事業のチケットを、通常より2週間早く先行購入できることに加え、5パーセント引きの特典があるサービスを行った。

また、他施設の公演チケットの受託販売及び施設利用者へのコピーサービス等を行った。

(2) 砺波市美術館図録販売等事業

① 美術展図録、ミュージアムショップでのポスター等の販売及び他施設の美術展入場券の委託販売を行った。

(3) 庄川美術館図録販売事業

① 美術展図録及び他施設の美術展入場券の委託販売を行った。

(4) 水資料館付帯事業

① ポストカード等の販売を行った。

(5) 庄川生涯学習センター付帯事業

① 公衆電話の設置及び他施設の公演チケットの受託販売並びに施設利用者へのコピーサービス等を行った。

(6) チューリップ四季彩館付帯事業

① 花苗及び緑花に関する製品・記念品等の販売を行った。

(7) 富山県花総合センター付帯事業

① 花苗や花鉢の販売を行った。

(8) となみ散居村ミュージアム付帯事業

① 書籍等の販売を行った。